

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年12月10日

事業所名:スポがくひろば ぱれっと 尼崎中央教室

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動ができる十分なスペースを確保しています。活動に集中できるようにパーテーションで仕切る等の工夫をしています。	十分な広さに満足している。	活動の支障となる様な物は極力置かず、運動スペースを確保維持していくように努めます。
	2	職員の適切な配置	指定基準以上の職員を配置し、支援を行なっています。	丁寧に見てもらっている。	基準以上に、その日に必要な支援の量や利用者の人数に応じて臨機応変に配置していきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	身体障害のある利用者が在籍していないので、現在のところ問題はありません。文字やイラストを用いて情報が視覚的に伝わりやすいよう工夫しています。	今のところ不便はない。	今後も障害の特性に応じた設備整備に努めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃し清潔を保っています。運動スペース、パーソナルスペース、学習スペースを分けるなどしています。	スペースを区切っていて一人になれる空間もある。子どもが一人になれる空間があるのは○。	より心地よく過ごせる空間作りにより一層努めていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	前日のミーティング時に翌日の目標を設定し、当日の終礼ミーティング時に振り返りを行なっています。また、その中で職員同士の意見を共有しています。		引き続き職員全員が共通の意識を持てるように、ミーティング通してより細やかな目標設定と振り返りをしていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は今のところ実施していません。		今後の課題として検討します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月一回、職員が全員参加して研修を行なっています。		研修の機会を増やす、あるいは質のより一層の向上に努めます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを基に一人一人に則した計画を作成しています。		子どもの課題を的確に捉え保護者のニーズに深く応えられる計画の作成に努めます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせて適宜、作成しています。	保護者の要望を取り入れてくれている。もう少し詳しい計画をたてたい。運動への要望も取り入れている。作業療法士が在籍している。	随時、子どもの状況を見ながら支援や計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に行なった支援内容を記載しています。		より細やかな項目や支援内容の設定に努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用日の前日に職員間で、利用者の状況に適した支援内容を打合せて実施しています。個々の計画に則した支援を実施しています。	きちんと対応してくれている。 子供に合った支援をしてくれている。	児童発達支援計画のほかにも運動計画を立てるなどに、より支援計画に沿った目標の達成ができるような支援の実施を行なっていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎日のミーティングを通じて、職員全体で話し合い個々に適した活動プログラムを立案しています。		専門職の意見を取り入れ、より適した活動プログラムを立案できるようにしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と土曜祝日に分けて、課題設定(外出、グループワーク等)を行ない支援しています。	運動や外出などさまざまなプログラムを総合的にいろいろしてくれるのも良い。 子どもたちに必要なサービス内容や子どもの意見や気持ちを優先してくれる。 保護者の要望にも対応してくれる。	利用児童の個々に合わせて支援を細分化できるように話し合い、支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月ごとに同じ曜日にプログラムが重ならないように細かく調整工夫しています。		今後も活動プログラムの幅を広げ内容も充実させていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、朝礼時のミーティングで一日の内容や役割の分担について確認し、実施しています。		その日の役割分担など見える化して、いつでも確認できるようにします。 また、ホワイトボードに書くことで子どもにも見てわかるようにします。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日の終礼時のミーティングで、職員全員で振り返りを行ない、情報を共有しています。		積極的に職員間で意見を出し合い、より細い情報の共有を行なうよう努めます。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌、行動表、連絡帳のコピー等を取り、支援の検証・改善につなげています。また、運動、わくわくの記録を付けて個別の支援に繋がっています。		より分かりやすく、より正確な記録の徹底に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎日のミーティングや中間評価などにより計画の見直しを行なっています。		モニタリングの回数を増やしたり普段から職員間の共有した情報を基に計画の見直しを行なっていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	最も精通した者が参画しています。		職員全員が子どもの状況に精通できるよう一層努力します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当する児童はいません。		今後の課題として検討します。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当する児童はいません。		今後の課題として前向きに連絡体制の整備に力を入れていきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	受け入れの際には、事前に連絡を取り合い情報の提供を受けています。また、日常的に連絡及び情報共有しています。		普段から保育所、小学校等との情報共有関係を構築できるように努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供するための資料を整備しています。		日々の詳細な記録整理し、を保存管理していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	機会があれば積極的に研修等へ参加をしています。		研修等に積極的に参加していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	外出先等で障害のない子どもと接する機会はあるが、特別に交流を目的とはしていません。	社会性や社交性が身につくようになってもらいたい。	市が主催するイベント等へ参加するなどして、障害のない子どもと活動する機会を設けていきたいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今のところ地域住民の招待などは行なっていませんが、見学、体験等は常時行なっています。	—	今後の課題として企画、実施できるよう努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行なっています。郊外活動時に費用が必要な場合には事前に案内を出しています。	丁寧な説明をしてくれていて、わかりやすかったです。	今後も安心してご利用いただけるように、分かりやすく説明するように取り組んでいきます。郊外活動時に費用が必要な場合の案内は一週間前までに出していますが、一カ月単位で周知できるよう改善します。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画作成後速やかに保護者に提示し、説明後、コピーをお渡ししています。	子どもに合った支援計画を立ててくれています。	より分かりやすく具体的な説明ができるように心がけます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今のところは行なっていません。	—	今後の課題として検討します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や日々の連絡帳、こまめな電話等のやり取りをしています。定期的なモニタリングの機会を活用しています。	電話連絡時や送迎時に今日の様子や状況を教えて頂けるので大変安心しています。	今後も児童に対する保護者との共通理解を深められるような関係性の構築に努めます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談に随時対応を行なっています。	年に一回でも個別の面談などがあると嬉しい。	保護者からの悩みや相談に適切な助言ができるよう経験や知識を習得するように努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の交流を図る行事を企画し、実施しています。	保護者同士の交流会を定期的を開催してくれて悩みを話せる。	年二回(春秋)、保護者同士の交流を図っていますが、もう少し回数を増やすことなどを検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は速やかに職員全員で話し合い、問題の原因と解決に向けて努力しています。苦情対応についての研修を行っています。	何かあると迅速で適切な対応をしてくれている。	職員間での共通認識のもと、まず苦情のない対応を心掛け、苦情があった場合は迅速、かつ適切に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	分かりやすい説明や伝達手段を個別に検討し、対応しています。	電話や送迎時に説明してくれて助かっている。	障害のある子どもに対しては視覚、聴覚の両方の伝達方法を用いて個別に支援を行なっています。保護者に対しては、連絡帳、電話やメール等を活用していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、通信を発行し、行事の案内も欠かさず配布しています。	ブログや通信で定期的に活動が分かるのは良い。	より細やかな活動概要の発信に向けて通信やホームページ等の内容を充実させます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイル等は鍵付きのロッカーに保管管理しています。	契約時に写真の取り扱いを決めて、ブログに使う際もモザイクをかけていただいているので安心。	写真等の扱いについては個人が特定できないよう加工するなど管理を徹底していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に保護者に説明しています。研修やマニュアルを用いて職員に周知しているが、保護者には不十分です。	地震等の緊急避難場所を教えてください。	通信等を利用して保護者への周知を行なっています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難場所等の確認は市が配布している防災マップ(マニュアル)で職員に周知しています。年二回、避難訓練を行なっています。	避難訓練を行なっていることを知り安心した。	今後も避難訓練等を通じて、迅速な対応が行えるよう意識を高めていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止の研修などをして対応しています。		研修の機会があれば積極的に参加します。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、該当する児童はいません。		今後に向けて職員全員で研修などを行ない整備していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントや保護者の説明を受けて個別に対応しています。		食物アレルギーのある子どもへの職員全員の理解が進むよう努めます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事案が発生した場合はミーティングで話し合い共有して、データベース化しています。		日々の中に潜む危険性として職員全員に常に意識づけするように努めます。